

山口蓬春記念館 平成28年度 企画展

山口蓬春邸の おもてなし

—— 蓬春夫妻の美意識を探る ——



山口蓬春《庭》昭和40年(1965)

平成29年 1月6日(金)ー3月20日(月・祝)

前期:1月6日(金)ー2月12日(日) 後期:2月14日(火)ー3月20日(月・祝)

※会期中、一部展示替えを実施します。

開館時間:午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日:毎週月曜日(1月9日、3月20日を除く)、1月10日(火)

入館料:一般/600円(高校生以下は無料) 団体割引/100円割引(20名以上の団体で1週間前までに予約した場合)
[税込み] 障がい者割引/100円割引(同伴者1名を含む)

連携割引/100円割引 ※連携館:葉山しおさい公園・博物館(大人券のみ)、神奈川県立近代美術館 葉山(企画展の一般券・学生券のみ)

※当館を何度でもご覧いただけるお得な年間入館券1,800円(発行月から翌年の同月末日まで有効)を発売しております。

主催:山口蓬春記念館・公益財団法人JR東海生涯学習財団 後援:神奈川県教育委員会、葉山町教育委員会



山口蓬春記念館

HOSHUN YAMAGUCHI MEMORIAL HALL

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2320
TEL:046-875-6094 FAX:046-875-6192
URL: <http://www.hoshun.jp/>

山口蓬春邸のおもてなし

—— 蓬春夫妻の美意識を探る ——

「ようこそ！ 山口蓬春邸へ——」

山口蓬春(1893-1971)の終の住処となった邸宅は、数々の名作を生みだすとともに日本芸術院会員就任(昭和25年)、文化勲章受章(昭和40年)など画壇での華々しい活躍を支える場所でもありました。多くの文化人たちが集うとともにまさに蓬春の「創造の源泉」となったこの葉山一色の邸宅には、蓬春とかれを支え、自らも日本画を学んだ春子夫人の美意識がその暮らしの隅々にまでいきわたっていたといえます。

本展では、蓬春夫妻の審美眼に根ざした在りし日の山口邸の暮らしに思いを馳せながら、夫妻の作品および愛蔵のコレクションを通じて今に息づく夫妻の美意識とその魅力を探ります。

主な出品作品とみどころ

1 独身時代の春子夫人の作品を当館初公開！

漫画家・北沢^{らくてん}天宅で暮らしながら日本画家・平福^{ひらふくひやくすい}百穂のもとで日本画を学んでいた春子夫人。その感性が蓬春の画業と生活を支えていたといえるでしょう。



齋藤光園(山口春子)《牡丹と黒猫》大正14年(1925)頃
さいたま市立漫画会館蔵



制作する齋藤光園(山口春子)

2 吉田五十八設計の画室が 往時の姿で蘇ります！

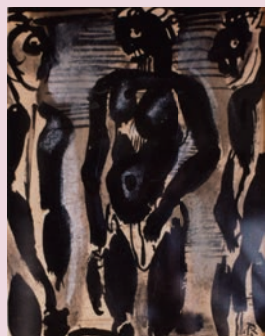
昭和28年12月に竣工してから60余年が経ち、老朽化がすすんだため補正工事を行っていた画室は、平成29年2月初旬から一般公開を再開します。



画室にて談笑する蓬春と吉田五十八 昭和32年(1957)

3 優れた「目利き」であった蓬春が蒐集し、 愛でられた名品の数々をご紹介します！

蓬春は蒐集した美術品をただ鑑賞するだけではなく、古陶磁には花や果物を取り合わせて作品のモチーフとし、また身近に飾って楽しみながら美意識の更なる研鑽の一助としました。美術品は生活の中でも活かされ、大切にされたのです。

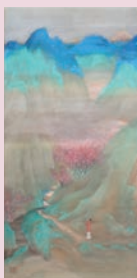


ジョルジュ・ルオー《三人の裸婦》
1920年代 山口蓬春記念館蔵
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2016 C1245

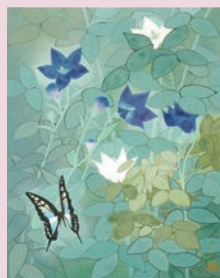


山口蓬春《瓶花》昭和40年(1965)
山口蓬春記念館蔵

4 個人コレクションとして秘蔵されている作品を特別展示！ 個人が所蔵し普段目にすることがない作品をご覧ください。



山口蓬春
《武陵桃源》
昭和2年(1927)



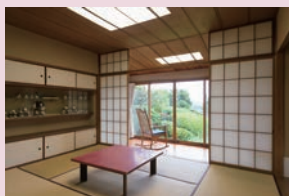
山口蓬春《桔梗》
昭和25年(1950)頃



山口蓬春《秋茄子》昭和26年(1951)

5 生活空間としての 山口家をまるごと ご覧ください！

蓬春夫妻が慈しんだ庭園。蓬春と五十八のコラボレーションともいえる画室をはじめとした建物。生活の中にさりげなく飾られた美術品の数々。山口家で客人をもてなす際に使われた器類や春子夫人愛用の訪問着などを含め、蓬春の創作意欲を育んだ山口家の暮らしをご紹介します。



吉田五十八設計「茶の間」

関連イベントのご案内

1 鍋木清方記念美術館(鎌倉市)との連携イベント

会期中、次のイベントを開催します。

◇入館料相互割引

鍋木清方記念美術館入館券持参の方は当館入館料を100円割引します。

【期 間】1月6日(金)～3月20日(月・祝)

◇「鍋木清方と山口蓬春 吉田五十八建築にみる日本画家の画室」を開催 近代数寄屋建築で知られる建築家・吉田五十八ゆかりの鍋木清方と山口蓬春の画室について鑑賞用ワークシートを配布します。

※画室補正工事のため、再公開は2月初旬を予定しています。

【参加費】無料(要別途入館料)

◇オリジナルグッズプレゼント【先着30名様】

鍋木清方記念美術館入館券持参の方にオリジナルグッズをプレゼントします。

2 画室補正工事竣工記念 吉田五十八御用達、 (株)水澤工務店による建物見学会

【内 容】補正工事を手掛けた(株)水澤工務店が工事の状況や苦勞話を映像とともに紹介します。また五十八建築の特徴やその魅力を実際の建物をご覧いただきながら解説します。

【日 時】平成29年 2月17日(金) 14:00～15:30

【場 所】山口蓬春記念館本館および別館

【参 加 費】無料(要別途入館料)

【定 員】20名(応募者多数の場合は抽選)

【締 切】平成29年 2月7日(火)

【申 込】はがき又はFAXに住所、氏名(ふりがな)、性別、年代、イベント名を明記の上、お申込みください。

3 第50回 葉山特別見学会

【内 容】葉山町にある美術館・博物館を学芸員の解説付きで見学します。

【日 時】平成29年 2月22日(水) 9:30～14:30

【場 所】葉山しおさい博物館・山口蓬春記念館・神奈川県立近代美術館 葉山

【参 加 費】無料

【定 員】30名(応募者多数の場合は抽選)

【締 切】平成29年 2月10日(金)

【申 込】はがき又はFAXに住所、氏名(ふりがな)、性別、年代、イベント名を明記の上、お申込みください。

4 展示解説

【内 容】展示の見どころを学芸員が解説します。

【日 時】会期中の毎週日曜日 14:00～(約20分)

※都合により開催できない場合がありますのでご了承ください。

【定 員】先着10名

【集 合】開始時間までに入館料をお支払いの上、受付前にご集合ください。

※会期中、一部展示替えを予定しております。

※展示作品は都合により一部変更することがあります。



【交通案内】

JR横須賀線・湘南新宿ライン「逗子駅」より 京浜急行バス3番乗場又は 京浜急行線「新逗子駅」南口2番乗場より「海岸回り葉山行(逗12)」か「海岸回り葉山福祉文化会館行(逗11)」にて約18分「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車 徒歩2分 ※専用駐車場はございませんので、周辺の駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。



山口蓬春記念館
HOSHUN YAMAGUCHI MEMORIAL HALL